

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 2 区分  
【発行日】平成 26 年 8 月 7 日 (2014.8.7)

【公表番号】特表 2008-502159 (P2008-502159A)  
【公表日】平成 20 年 1 月 24 日 (2008.1.24)  
【年通号数】公開・登録公報 2008-003  
【出願番号】特願 2007-515655 (P2007-515655)  
【国際特許分類】

H 0 1 L 33/48 (2010.01)

【F I】

H 0 1 L 33/00 N

【誤訳訂正書】  
【提出日】平成 26 年 6 月 20 日 (2014.6.20)  
【誤訳訂正 1】  
【訂正対象書類名】明細書  
【訂正対象項目名】0 0 4 5  
【訂正方法】変更  
【訂正の内容】  
【0 0 4 5】

レンズ 7 0 は、多数の方法で、成形体 4 0 に取り付けられることができる。例えば、レンズ 7 0 が、温度サイクル中に封止剤の上に着座し、浮遊するように、レンズ 7 0 が封止剤に接着される。あるいは、レンズ 7 0 は、その棚状の突起 7 3 で、成形体 4 0 と固定される。数百ミクロンの小さな隙間、すなわち膨張空間が、レンズ 7 0 の最下点とリードフレーム 2 2 の上面側 2 4 との間に存在する。この隙間によって、封止剤が温度サイクル中にこの隙間を通して呼吸 (breathe) する (膨張および収縮する) ことができ、たとえあったとしても、高い熱応力はダイパッケージ 1 0 の他の部分に影響をほとんど与えない。これによって、剥離、亀裂および熱応力に関するその他の原因による故障が低減される。